

【NEWS RELEASE】

2023年5月9日

各 位

株式会社三井住友銀行
インキュベイトファンド

コーポレートベンチャーキャピタル「SMBC Asia Rising Fund」の設立について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「SMBC」）は、アジアを中心とした有望なスタートアップ企業への出資を通じた協業・事業開発を加速するため、インキュベイトファンド（代表パートナー：赤浦 徹、本間 真彦、和田 圭祐、村田 祐介、Paul McInerney、以下「IF」）と共同でシンガポールにコーポレートベンチャーキャピタル「SMBC Asia Rising Fund」（以下「本 CVC」）を設立いたしました。

1. 設立の目的


SMBC グループは、マルチフランチャイズ戦略(※)を掲げ、中長期的な成長が見込まれるアジアにおいて、既存ビジネスの強化ならびに地場金融機関への出資・買収を通じた事業拡大を図っています。

斯かる背景下、インドや東南アジアでの投資実績が豊富な IF の有するスタートアップ投資への高度な知見と、グローバルにネットワークを有する大手金融機関としての SMBC の強みを掛け合わせ、アジアの有望企業への投資を進めるため、本 CVC をシンガポールに設立いたしました。これにより、投資先企業との協業を通じた新技術の発掘・活用や、新たなビジネスモデル・プロダクトの開発を行い、SMBC グループのビジネスの高度化を進め、お客さまに新たなソリューションを提供してまいります。また、スタートアップとの連携を通じて、アジアにおける SMBC グループの出資先金融機関のバリューアップを図ってまいります。

「SMBC Asia Rising Fund」というファンド名には、SMBC グループマークにも使用している「Rising」という言葉に、アジアと共に発展する、という想いを込めています。本 CVC の活動を通じ、アジアのスタートアップと共に新たなビジネスを創出し、アジア経済の発展に貢献してまいります。

※アジアの新興国において、リテール業務を含むフルバンキング業務に参入し、三井住友銀行のノウハウの移転や人材育成などを通じて、中長期的に「第 2、第 3 の SMBC グループ」の構築を目指す戦略

2. 本CVC概要

名称	SMBC Asia Rising Fund
ロゴ	
運用総額	200 百万米ドル
設立日	2023 年 4 月 20 日
運用期間	10 年間
投資領域	レンディングテック、ペイメント、サプライチェーンファイナンス、Banking-as-a-Service、デジタルアセット等の金融および周辺領域で、協業・事業開発を通じ SMBC グループ（含むアジア出資先金融機関）の事業成長に資するスタートアップ企業
Web サイト	https://smbc-asiarising.vc/

3. インキュベイトファンド 概要

2010 年の創業のインキュベイトファンドは、創業来総額 983 億円以上の資金を運用し、関連ファンドを通じて 450 社以上のスタートアップへ投資活動を行うなど、創業前後のシードステージに特化したベンチャーキャピタルとして、日本国内最大規模の実績を有しています。

また、アジアを中心にグローバルなネットワークを保有しており、国内外の様々な投資案件に対応可能なケイパビリティを有しています。本 CVC ではシンガポール法人（Incubate Fund Management Pte.Ltd.）がファンド管理を行います。

名称	インキュベイトファンド
代表パートナー	赤浦 徹、本間 真彦、和田 圭祐、村田 祐介、Paul McInerney
事業内容	創業期のスタートアップ企業を中心とした各企業への投資活動

4. 株式会社三井住友銀行 概要

名称	株式会社三井住友銀行
代表者	頭取 CEO：福留 朗裕
事業内容	日本国内及び海外における預金や貸出等の金融サービス提供等

以 上